

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 服部 弘子

日時	2025年2月11日(火) 10時10分～16時09分	天候	晴	コース名： 第53回よりみちクラブ	
案内団 体又は 催事名	正月堂ってどこにあるの?第2弾 =伊賀市島ヶ原町散策と修正会=		人数	大人：23名	

集 合:JR 島ヶ原駅

解 散:JR 島ヶ原駅

ガイド:ならなぎ会員 玉尾ひとみさん

行 程: JR 島ヶ原駅→ 旧本陣 → 行者堂 → JR 島ヶ原駅(トイレ)→ 薬師堂摩崖仏→
西念寺←中矢区集議場(昼食)→ 練り込み参加→ 正月堂→ 鵜野宮神社→JR 島ヶ原
駅

出席者: 玉尾洋・堀内け・義田・中澤・上森・嶋田・北川・澤井・橋本・嶋村・玉尾ひ
・奥山・吉川・武田・樋野・山本・星田・中谷・竹山・高橋勝・杉林・山口
・服部 計23名…順不同・敬称略

JR 島ヶ原駅10時7分着の電車で全員集合。ならなぎ会員の玉尾ひとみ氏の案内で旧大和街道 島ヶ原本陣跡へ。大名たちが宿泊したとされる看板が残っている。

その後、島ヶ原行者堂へ。石刻の役行者像、不動明王像、阿弥陀摩崖仏などがあった。

JR 島ヶ原駅に戻り、トイレ休憩。

その後、長い坂をひたすら上り、薬師堂摩崖仏へ。薬師堂には花崗岩の自然石に掘られた4体の薬師坐像、阿弥陀如来三尊立像がある。道の反対側には6地蔵尊が石に掘られている。

西念寺では樹齢500年というカヤの巨木を見上げる。

はさめず醤油で有名な福岡醤油店を横目に見て、中矢区の集議場を目指す。周囲には山に囲まれた田園地帯が広がる。

中矢区の集議場では地区の人たちが集まって修正会の準備をされていた。地区の区長さん、祭りの頭屋の方から挨拶・説明を受け、二階の暖かい部屋でお弁当を食べる。山桜の枝に餅花をつけ、山桜の枝で作った夫婦の燕をつけたものとお餅をもらった。ゆっくりさせていただいて、14時から練り込み参加。

練り込みとは千本杵でついたという5個の大餅(だいひょう)や珍奇な献供物(鬼頭)を担いだ行列、「えっとお～!えっと、えっとお～!」という掛け声をかけて歩く。

昔は重いお餅を下げて、山を越えて、歩いて行ったが、今は集落を抜けたところで餅や献供物は軽トラで運んでいた。

「昔は酒飲んで運ぶもんで、餅を担いだおっちゃんが山を滑り落ちたこと也有ったなあ。」という話を聞きながら、我々は「えっとお～」の掛け声をかけながら歩く。

観菩提寺正月堂近くになればトラックから降ろし、提げて「えっとお～」の掛け声をかけながら、本堂の中へ。我々も中へ入れてもらった。途中何か所かで、歌った、数え歌(我々も練習した)を本堂でも足踏み鳴らしながら歌う。

15地区から同じような練り込みが行われて、正月堂に集まってくる。本尊お餅を奉納して練り込みは終わった。

観菩提寺正月堂の本尊木造十一面觀音像は33年に一度開帳されている秘仏である。東大寺で修二会を始めた実忠によって開かれ(729年～749年)、平安時代に中興されたと伝わる。中世には島ヶ原党(伊賀忍者?)と呼ばれる武士集団との関わりが深かった。

翌日の2月12日には「おこない」と言われる、火と水の荒行・韁靼や乱声、五体投地礼拝の古儀式が行われるそうだ。

はさめず醤油の福岡醤油店(今日は休みの予定であったが、修正会のため臨時営業か?)に

て醤油、ドレッシング、お酒（元頭）を購入。

元来た道を帰るチームと鵜宮神社によるチームに分かれて帰る。実忠が二月堂の鵜宮社から勧請したという鵜宮神社では巨大な石燈籠があった。

16時9分の列車で全員帰路に就く。

所感等

数日前からの寒波が緩み、厚着で歩いていると汗ばむほどの陽気に恵まれた一日であった。

今回は中矢地区の練り込みに参加させていただいた。伊賀の里に春を呼ぶという修正会を絶やさず引き継がれている地域の人たち。どんどん高齢化して、祭りに関わる人が少なくなっていく中この行事を何とか絶やしたくないという思いが頭屋の方のお話からひしひしと伝わってきた。応援団として参加した我々を温かく受け入れていただき、共に参加したこの行事が地域の若い人たちに受け継がれていくことを切に願う。

特記事項

みんなから500円集金。10000円をお世話になった中矢地区に祝儀として渡す。

残り1500円は次によりみちの費用にストック。

